なかさ東

毎月 一回 15日
定価 1部 5円
発 行 所
中里村公民館

現在人口
男 4,513
女 4,489
計 9,002
世帯数 1,666

農業構造改善の一考案

—稲作の機械化は可能—

稲作を主体とする中里村に於ける農業構造の改善を考える場合、先づこの稲作の機械化は可能か、ということが頭に浮ぶ、現在小型耕運機の普及は確かにめざましく既に二戸に一台近い普及率です。しかしこれは稲作の機械化が普及したと言うにはあまり適切な表現ではないようだ。このことは農家自身もそう感じているであろうと思う。稲作体系の中に耕運機の活躍する場面は耕起と代かきのみである、つまり一部分が機械化したに過ぎないことになる。では一体稲作の機械化とはどんなことを言うのであろうか。

機械の大規模化

稲作の機械化とは乗用型トラクターによる耕起、深耕、代掻機械による除草剤撒布、田植の代りに機械による直播ら大型機械による病害虫防除の薬剤撒布稲刈脱穀はコンバイン大規模の乾燥調整設備、これらが一貫しなされる体系、これが稲作の機械化ということであろう。これは単に労働生産性の向上だけでなく、いわゆる適期の作業が可能になるという利点がある。従来反当り二〇～三〇人の所要労働力が、五～一〇人でよろしいことになれば、経営構造の組立ても必然的に変革しなければならないであろうし又可能となる即ち畜産、養蚕、園芸、果樹と適地適産の作目も選択拡大を図ることができよう。

一戸一戸が、よさそうな作目を少しづつあれもこれもとり入れて結局どっちともつかず、どうなったこともなく、忙しい、楽にならない、と来る年も去る年も過していることから脱皮しなければならないと思う。

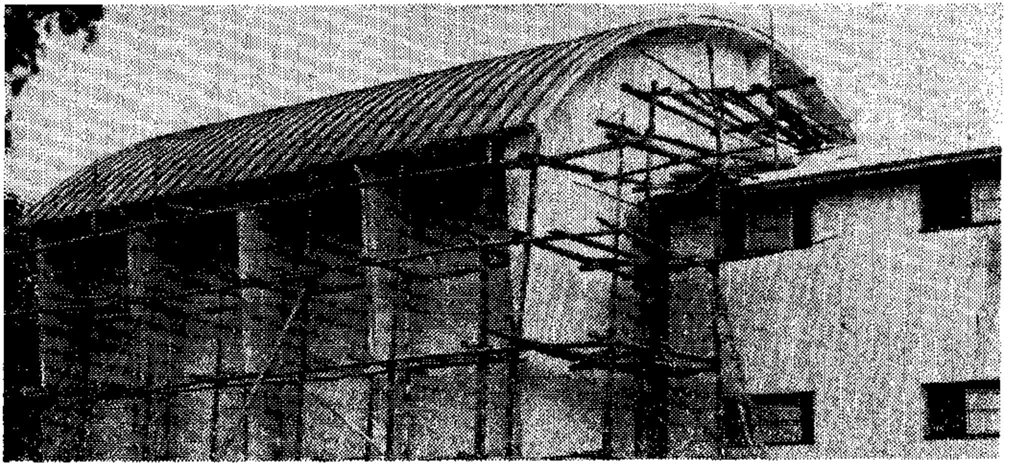
機械化への条件

中里村の農業経営構造改善はどうあるべきか、先づ生産基盤の整備が先決であると、かって主張したことがあり今も尚その考えは変らないし、益々その感を深くするものである理由は実に前段申述べた機械化への必須前提条件であるからに外ならない。一輪車やリヤカーがようやく通るか、小型耕運機でさえ運行に差支えるような稲作（主要作目ですぞ）の生産基盤を放置して構造改善に一体何が考えられようか、何を導入したらよいか、頭の中は只どうどうめぐりか、空転するに過ぎない。

第二の条件は、やはり何と言っても協業乃至は共同である。労働生産性の向上は、機械化と共同であると言って過言でない否この二つはむしろ不離一体である。

今全国各地の農村が、新しい経営構造への途を悩みつゝ考えつゝ前進している。私達も、将来の構図を一日も早く実現するようそれぐ\の立場で真剣に取り組んでゆこうと思う。

（中里農協・村山正二郎）



写真は完成した米倉庫（左）と購売倉庫

国旗を掲げよう！

八月十五日

全国戦殁者追悼の日

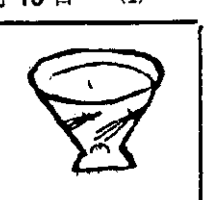
今次の大戦は、その様相が極めて苛烈であったため、軍人軍属はもとより、動員学徒、徴用工などの準軍属や一般国民を含め、内外地を通じ戦いの犠牲となって死殁した国民の数は、約三〇〇万の多きに及んでいる。

政府は、わが国が戦後平和の礎の上に大きく経済発展をとげた際には、過ぐる大戦においてこのような多数の犠牲があったことに深く思いをめぐらし、国をあげてこれらの犠牲者に追悼の誠を捧げ、多くの犠牲の上にもたらされた平和への思いを年ごとに新たにするため、終戦の日である八月十五日に、東京日比谷公会堂において、政府主催のもとに「全国戦没者追悼式」を行なわれることにより、広く国民各層の理解と協力を得て全国民的な行事として有意義な式典とするよう国から県に要請があったため、村においても全面的にこの行事に協力し、村民こぞって戦没者の冥福の祈念いたしたいと存じますので、式典当日の正午には、職場や各家庭において国旗の掲揚とそれぞれ黙祷を行なうようお願いいたします。

中里村農協倉庫竣工成る

今春五月着工された中里村農協倉庫がこの程竣工をみて、村の中央部に新装も美しい近代的な姿をみせた。米の保管倉庫は新潟県内でも珍らしい軽量鉄骨ブロック積みという最も新しい型式で新潟市のK設計士の設計になり、工事は十日町市K建設会社の手により施行されたもので事業費約六〇〇万円という、この型式は鉄筋コンクリート造りの、いわば中間的なものでありしかも耐久面については永久的な保証がなされている。住宅にもやがてこの型式が採用されるのではあるまいか。屋根はカマボコ型で除雪無用というこの辺では珍らしい姿である。

米の保管能力は約三、〇〇〇俵で既存の倉庫と併せて一〇、〇〇〇俵の保管能力を持つことになる。事業費の財源については六五〇名の組合員が米の売渡量等に応じて各々出資金を積立てるという協同の力の偉大な結実ともいえよう。



家庭

默如

戦後強くなったものは靴下となんとかという言葉があったがこの他にも強くなったものも沢山ある。その反面弱くなったものも沢山あるようだ。

近来年寄り（老人）が滅法弱くなったと痛感する場面にぶつかる、家の者はなんの気なしにしているのであろうが、この頃どこの孫共でも年寄りに強いことったら全く驚嘆する。友達仲間の会話には、都会人も顔負けの標準語であるが、一寸年寄りが何か注意でもすると俄然豹変して馬鹿じさ、馬鹿ばさ、お前なんて黙って引込んでろろ、年寄りの癖に余計なことをいうなと一喝してしまう。こんな時、大抵の年寄りは口をもぐもぐさせて淋しそうに黙ってしまう。ところでこんな場面が生じても母親に案外困惑の表情や子供をたしなめる者が少ない。

毎日繰返されることなので全く心にかからないのであろうかいやむしろ子どもに同調する母親さいある。このような場面にぶつかると私は年寄りのために義憤を感じざるを得ない。如何に自由が尊重されるとは言え、家庭の和を維持するには秩序を保つことが大切ではあるまいか自ら長幼の序があり年寄りは年寄りにしておき、孫は孫らしくなければならない。このように家庭の秩序が乱れる原因はどこにあるのだろうか……。

これは日本弱体化を図った家族制度の破壊政策が効を奏した結果に外ならぬのではなかろうか

今、子どもを産み、育て盛りの人達は占領政策の最も盛りに育てられ、そして妻となり母となったのである。そして知らず知らずのうちに年寄りは古臭くて、てんで問題にする要なしとの観念が潜在しているのではないだろうか。それが自然と子供を育てる日常の言動に反影してくるのではなかろうか。子供は純心神の如しとか、家庭のしつけが後天的個性を形造るものではなかろうか。

学校教育のあり方にもいろいろ批判検討がなされているが、幼童のしつけによい関心を払はなくてはなるまい。この頃、テレビに「咲子さんちょっと」と題する映画があるが、いつ見ても感じがよい、私がよいとする処はあの生活そのものではないあの家庭に流れる家族相互の温い思いやりにある。勿論映画はすべからく家庭はかく円満にあれかしとする理想像でもあろうが、我々も少くともあのような雰囲気を自分の家庭にも醸し出し、他からも見良い家庭や子供造りに努力したいものである。

人生往来

◎誕声

子のなまえ	父の名	部落
古滝真由美	新蔵	朴木沢新田
山田まゆみ	孝吉	宮中
桑原 恭容	袈裟一	東田尻
小林 幸恵	勲	西方
中島富美子	忠治	堀之内
外山 正司	新吾	たかば
村山 重	之和	宮中
関沢よしえ	武司	倉下
山田 浩子	重正	上山
山本 浩	昭	田中
大島 哲行	晋市	平瀬
滝沢 博子	正一	荒屋
広田 尚美	紫雄	小原
鈴木 博之	覚己	重地
桑原由紀子	昭平	重地
鈴木 正代	秀夫	重地
島田 徹昭	幸男	倉俣

◎高砂

	氏名	部落
新郎	江村 敏雄	山崎
新婦	井之川勝子	山崎
新郎	三五 玄一	刈羽村
新婦	藤巻 久子	たかば
新郎	南雲 元一	堀之内
新婦	桑原イミ子	十日町
新郎	阿部 清作	新屋敷
新婦	中 はる子	北海道

◎昇天

氏名	年令	部落
樋口 ナミ	（六五）	平瀬
吉楽 政吉	（六九）	上山
樋口清五郎	（七五）	荒屋
桑原 福松	（七三）	角間
樋口 幸重	（六一）	朴木沢
村山 イセ	（六四）	白羽毛
上原 モン	（七八）	上山
島田 正重	（三一）	倉俣
高橋 武次	（五〇）	宮中
吉楽 サノ	（八六）	宮中

「槌の音」

農村の嫁飢饉

最近マスコミ等で、盛んに問題となっている、農村の嫁飢饉「これはいささか女性にとっては諸説があるが」について、農村の一青年としてスポットを当てて見たいと思う。嫁飢饉の問題は農村青年にとっては、大いに関心があり、又将来農村生活をよりよきものとするためにも、良き配偶者となる農村の女性が農村を敬遠すると言うことは極端に、えば、身近の最も切実な問題ともいえるであろう。又、一面から言えばこの問題解決は農村の行き詰り改善、或いは封建的な因習打破、嫁、姑とのいざこざ等の解消の最も手近な方法であると思います。この問題について、ある新聞では、盛んに論議されているが、最近三十、四十才になって独身でいる農家の男性はまったくと言っていいほどまれではないか。このような問題を真剣に考える必要はないと論評している。実際その通りであるが、社会が文化的かつ科学的になった現在、農業生産が合理的かつ機械化されたと言っても、その比率は充分でなく、このまゝ農村の状態が旧態依然として、発展しなければ農業基本法により、農家の次三男は都会へ吸収され、戦後、靴下と何とかは強くなったという言葉の通り、女性も人間であれば誰でも文化的な生活をしたいと同じように、増々農家から遠ざかる。

このようなことが急速に浸透しつつある今日では、人毎のように楽観している訳にはゆくまい。或新聞では結婚の対象となる女性は多くいるが、物に例えれば、いわゆる女性として一級品は農村をきらう。このことは人間的には農村の青年が社会人又人間として一級品であればある程度自分の理想の女性と、結婚できるかもしれない。とのべている。これは社会通念上そうゆうことであるが、昔から農家というものはこうしたものはこうしたものであるという先入観が多分にあり、現在の農村生活はまだまだ大いに問題があると思う。

或る学校で嫁にゆくならどのような職業を持つ人の処へ行くかとのアンケートをとった所、農家へ行くという女性は全体の数%に過ぎなかったそうだ。

僕としては、この問題は唯漠然と抽象的ではなく、具体的に考える必要があると思う。もう少し深く掘さげて農村のあり方を考えて見る。

ただ単にマンネリズム的に朝早くから夕方遅くまで働らくだけのくり返しで、一年間の計画をたて気候的にその年々によって、異なるが田植は何月何日、よりはじめ何日までに終了の予定とか、一年間の延人員、肥料代金、人権費は千円位にと、計画的にやる。サラリーマンのように、週一回は出来なくても月一回位農休日を制定し一家団らんの時が過ごせるようにしたいもの。

又よく耳にすることであるがあそこの家では手間不足であるから嫁をもらうとまるで家畜同様のとり扱いに感じられ、農村はまだまだ封建的な面があり、人間対人間の結婚ではなく、家と家との結婚という観念が非常に強く根を下している。

嫁と姑との問題では、嫁は自分の家の食践のことは全然わからず、姑はこの家へ嫁にきた時は、どういう事をやったとか、朝何時に起きたとか、自分の負わされたことをそのまゝ嫁におしつける気持、まことに人間として最も愚劣なミミッチイ考え方がある。嫁に対して現代の姑さんたるものもう少し前向の考えと理解力をもってほしいと思う。これらの問題は色々と矛盾がある。自分の娘は農家へは嫁にやりたくないが、自分の家へは農業出来る女性がほしいと、甚だ勝手な考え方をして居る。

今後の問題としては、機械化すべき所は大いにやり、所謂、オートメーション的に、合理的に、集約的にとにかく何を作るにも、能率よく、さい算のとれる農家経営をすべきだと思う。これら農村の問題は、時代の変化発展と共に好むと好まざるにかかわらず実現してくるであろう。嫁飢饉についても農村青年でさえ農業をきらう現状ではむりからぬことである。

小沢Y生

中部地区農改普及所統合

このたび県の行政組織の一部変更により、当普及所は七月三十一日を以って閉鎖し、十日町地区、津南地区、両普及所に統合することになりました。

顧みれば昭和三十一年六月、中部地区農業改良普及所が、旧水沢村、土市に設置されてから七年間、私共職員、地域の農業改良普及に専念致して参り、地域の農業生産の増大もみるべきものがありますが、これ偏に皆様方の御協力の賜と深く感謝いたします。

ついては私共も農業近代化に対応し、新しい普及体制の一翼を担って、それぞれの新任地へ赴任することになりましたが、新任地に参りましても従前通りの御交誼・御協力賜りたく御願い申し上げます。

先ずは右閉所の御挨拶申し上げます。

尚、今後中里村地域についての普及所の指導は津南地区農業改良普及所となりましたので宜しくお願い致します。

所長　河内栄司、新任地＝十日町地区農業改良普及所
技師　村山甲子三、新任地＝十日町地区農業改良普及所
技師　樋口虎治郎、新任地、津南地区農業改良普及所
技師　広野正幸、新任地＝十日町地区農業改良普及所
書記　上村栄子、新任地＝十日町地区農業改良普及所
開拓営農指導員　高橋国一、新任地＝津南町農業改良普及所

共同募金について

その考え方

社会の人々が、互いに手を結んでたすけあう精神は、家族や隣人のあいだから始まり、時代と共に大きく育ってきました。そして今や国をあげて、すべての国民が社会人としての善意を発揮し、それを社会福祉の為に有効に役立てようとする共同募金運動はお互いの力で、みんなの幸せを高め明るい地域社会をつくると共に、公やけの社会福祉予算の増額をうながし　社会保障制度の確立をはかるための世論をみちびく役割を果しています。

◎ねらい

一、民間の発意とたすけあいの強調

だれでもお互いの幸せに関心を持ち、お互いの力でこれを進めていってこれ、福祉国家が完成されるのです。そのためには公の責任にもとづく社会保障と共に、私達民間の発意と助けあいによる自主的な、福祉活動がおこなわれなければなりません。

この運動は、民主社会における会社連帯性の自覚と、社会人としての責任の強調する国民の運動です。

◎特色

一、自主性

たすけあい精神にもとずく、自発的なこの運動は、当然それ自体が民間運動であることを生命とします。そこで公正に代表された民意によって、自主的に組織運営され、国や地方公共団体は協力しますが、支配したり干渉することは法で禁じられています。

二、計画性

民間社会福祉事業を真に国民の福祉に役立たせるためには、それに必要な計画をたててそのうらづけとなる資金を確保しなければなりません。

そこで県共同募金会では、受配施設（養老院、児童福祉施設等）や、団体（市町村社会福祉協議会等）の要込みをまとめ、充分審査した上で、目標額をたてます。こうして定められた、目標額を各市町村分会が分担して募金するわけです。中里村では今年の目標額は、

一八〇　〇〇〇円で、一戸平均一〇〇円強となります。

この目標額が達成されなければ、来年度の中里村社会福祉協議会や養老院その他の施設で、事業の運営が困難になってまいります。

三、地域性

この募金は、おたがいが住む地域の福祉を、住民の意志と力で自主的に高めようとするもので、今年の募金目標額一八〇、〇〇〇円のうち、一一五、〇〇〇円は中里村社会福祉協議会に配分され、その外季節保育所費として、八〇〇〇円位の配分を受けることになっております。残りの五二、〇〇〇円は、養老院とか児童及び救護施設等に配分され間接的に、中里村住民も恩恵にあづかっておるわけです。

◎社会的責任と自覚

一、募金の趣旨

めいめいに、社会的責任を自覚し、おたがいに拠出しあうのが募金の主旨です。全国民のおのおのの分に応じた拠出を勧奨します。そのさいには、どの位寄附したら責任を果せるかの目安を示しますけれど、税金とは性質がちがいますから寄附者の自発性を尊重して行われるものですが先に申述べた如く目標が完遂されなければ、福祉事業が円滑に行うことができませんので、趣旨御諒解頂きまして初期の目的が達成できますよう御協力願います。

地方税一部改正について

地方税（県税、市町村税）の「延滞金」、「延滞加算金」が次の通り改正になります。

▽「延滞金、延滞加算金」が三十八年十月一日から「延滞金」一本建の名称になります。

▽「延滞金」は督促状発付の日とも一、二日目から日歩四銭（従前は「延滞金」三銭、「延滞加算金」三銭、計六銭）になり、それ以前の分は日歩二銭（従前は「延滞金」三銭）となります。

▽延滞加算金には基礎税額の五%の徴収限度額（これ以上徴収しない）がありましたが、改正後のこれに相当する「延滞金」（日歩二銭）には限度がなく完納されるまで計算されます。

改正前に納期限のきているもの、督促状の発してあるものは三十八年九月三十日まで従前の規定で「延滞金」日歩三銭「延滞加算金」日歩三銭で計算し、三十八年十月一日からは新規定の「延滞金」日歩四銭で計算し、合算して徴収することになります。

なお、三十八年九月三十日までに督促が発してある場合は従前の規定の「延滞加算金」の五%の限度を認め「延滞金」（「延滞加算金」相当日歩二銭分）についても五%を限度として徴収することになっております。

▽この改正を機会に「延滞金」等は本税に先だって洩れなく徴収いたしますので、納期内に完納し、「延滞金」徴収の必要がないよう特にお願いします。

税務課より

産米改善講演会行われる

去る七月二十三日午後一時より経済連十日町支所において、県農試、井利専門技術員、日本穀物検定協会神戸支部、西井検定部長を招き、うまい米作りの勘どころ、神戸市場における新潟米の評価等の内容の講演会が開催された。

なお会終了後、産米改善優良部落の表彰が行なわれ、中里村では、貝野地区、宮中農家組合が表彰された。

なかさと文芸

――投句――

桂　仙
空蝉の命孫等とたわむるゝ
大小の鯉あやなして池涼し
背嵐非命に斃る古城趾

紫　紅
夏菊の朽ちて辯堂静かなる
病む人もしばし佇む蛍の夜
思わさる友の便りや夏呆け

露　丘
工帽のあごひも濡らす氷菓子
海に生き船に住み来て星まつる
暮れまどう峡の畝畔ほたる花

天栄子
風鈴のよく鳴る下に愛児眠る
鈴虫の窓辺に寄りて人を恋う
蝉時雨一冊顔を覆い寝り

夏の健康を守ろう

食品衛生に気をつけて

みんなで、食べものの衛生や環境の清潔をはかって、赤痢、日本脳炎、小児マヒ等の伝染病や食中毒を防ぎ、維持増進に努めましょう。

健康で楽しい夏を送るため、食品業者、家庭の台所をあづかる主婦をはじめとする消費者の一人々々が、次のことに注意しましょう。

①食品は衛生的に取扱いましょう。

イ、たべものを買うときの注意

◎衛生的な店から、新鮮で栄養的なものを選んで買いましょう。

◎行商から魚介類を買う場合は容器が衛生的か、氷がたくさん使われているかなどを、よくたしかめてから買いましょう。

◎腐っていたものなどを知らないで買った場合は、泣寝入りしないで、返品するかまたは保健所に届け出ましょう。

ロ、たべものを扱うときの注意

◎手をきれいに洗い、できるだけ食品に手をふれないようにしましょう。

◎中性洗剤や殺菌剤、または熱湯などを使って食器、フキンマナイタなどを清潔に保ちましょう。

◎ハエ、ネズミ、ゴキブリなどを退治し、蓋付き汚物容器を備えましょう。

◎作ったものは、なるべくその日のうちに食べるようにしましょう。

◎折詰などは、その場で食べるようにしましょう。持ち帰った場合は、必ず火を通してから食べましょう。

◎手に傷があったり、カゼをひいているようなときは、調理に従事しないようにしましょう。

②自分の健康は、自分で注意しましょう。とかく夏は暑さのために病気に対する抵抗力が弱くなりがちです。

イ、成人の健康管理

◎ちょっとでも体に変調があったら、早めに保健所や医師に相談しましょう。

ロ、乳幼児児童の健康管理

◎自分で健康管理ができないので、家庭の人々が常に注意をしてあげましょう。

③バランスのとれた栄養をとりましょう。暑さに負けず、元気に働くためにはバランスのとれた栄養が必要です。

イ、油を上手に使って充分なカロリーをとりましょう。

◎酢油　ソースやマヨネーズをいろ〳〵工夫してみましょう

ロ、蛋白質を充分にとりましょう。

◎食欲不振のため、とかく淡白なものだけを食べる傾向になりますが、香辛料など上手に利用し、また牛乳、山羊乳をたっぷりのみましょう。

ハ、ビタミンBを充分にとりましょう。

◎ビタミンB1の不足は一層夏まけを助長させます。

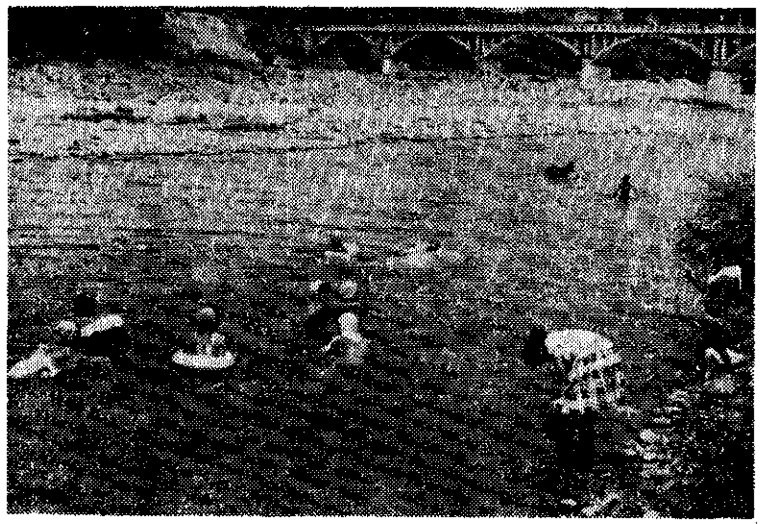
強化食品を上手に利用しましょう。

④衛生害虫を駆除しましょう。

◎はえ、ぬずみ、ゴキブリ、蚊は夏のいろいろな伝染病や食中毒を運搬する悪質な衛生害虫です。環境をキレイにして駆除しましょう。

⑤生水は飲まないようにしましょう。

◎赤痢などの伝染病は、水によって運ばれることが多いので川水を使わないことは、勿論井戸水でも必ず煮沸するか、塩素殺菌をしてから飲用しましょう。



子どもを水から守りましょう

子どもたちを水から守るには一体どんなことに注意したらよいのでしょうか私達は案外無関心でいることが多いと思います

日頃のこどもたちのしつけが最も大きな役割を果たしていることはもちろんですが、子どもたちの日常生活に深い関心と注意とをもって水難から守るように努力したいものです。

そして、単に水難を防ぐということだけではなく、水による病気やけがなどからも子どもたちを守りさらに一歩進んで水を恐れずにみんなが泳げるようなところまでもってゆきたいものです。

地域ぐるみの協力こそ最も大切です。子どもたちを水難から守るために次のようなことにお互いに注意しましょう。

❶小さな子どもに関心をもちましょう。

◎川や池のあるところでは一人では絶対遊ばせない。

◎子守りをしながらの仕事はやめましょう。

❷子どの遊び場所に関心をもちましょう。

◎川のほとり、流れの急な川の附近、池や沼、こんな所で遊んではいませんか。

❸泳ぐに適当な時期、水温、時刻は、

◎水温、二十二度C二十五度C（七月上旬～九月上旬）

◎時刻、午前九・三〇ごろ～十一・〇〇ごろまで。午後三・〇〇ごろ～五・〇〇ごろまで

◎一回の入水時間は五分（長くて二〇分）

❹遊泳をしていないとき

◎満腹のときや過度の運動後

◎疲労している時や病気あがりのとき。

❺水にはいるときには。

◎準備運動をしてから（関節、筋肉をよく動かす。）足からはいる。顔を洗い頭をぬらし腕や胸に水をかけて静かに一度くぐり泳ぎはじめる。

❺河川を見る心得

【イ】浅い所――

◎水が白く、流れる音のある所

◎淵の上下、大川の両岸

◎流れの早い所

◎石川のときは、広々として大きな石のない所

◎砂川のときは、まっすぐの所

【ロ】深い所――

◎流れが黒く静かな所

◎あわがあって回っている所

◎砂川は、わん曲した所

◎泥川は、せまい所

◎崖の下

❻水泳の監視

◎はいる前には必ず点呼をとる

◎常に全てのこどもに目が注がれていること

◎監視者は水中に入って子どもと遊んではいけない。

◎危険を感じたらすぐ呼笛をふく

❼救助法を知りましょう

【イ】泳いで助けるのは最後の手段

◎「溺れるものはワラでもつかむ」のたとえのとおり救助者にしがみつき救助者も一緒に溺死することがあるので泳いで助けるのは最後の手段です

【ロ】腕を伸ばして助ける

◎直角に岸の上に腹ばいになるバランスをとりながら上半身を岸からのり出して片手で岸の端を押えながら、他の片手を伸ばして溺者の手首や髪などをつかんで岸へ引きよせる

【ハ】上衣や釣竿で助ける

【ニ】なわを利用して助ける

◆救助用の道具を必ず用意しましょう。

◎浮輪直径45㌢ぐらいのもの

◎「なわ」は、おや指大の太さのもので二十㍍ぐらいのもの

◎板は幅三十㌢、長さ一㍍、厚さ三㌢ぐらいの杉材（これは水泳の指導に役立つ）

◎竹は長いものも短いも用意するとよい。